

JCAA News

JAPAN CLINICAL ART ASSOCIATION

Vol.

56

2019 SUMMER

専門家インタビュー

臨床美術士を訪ねて

学会大会告知

臨床美術学会第11回大会 2019

大会テーマ「人の生（life）を支える臨床美術の力」

2019年度 定期総会報告

イベントレポート

フィンランドセミナー報告

登録団体代表者会議

協会からのお知らせ



アートプログラム：「おばあちゃんの畑のとうもろこし」



特定非営利活動法人
日本臨床美術協会

臨床美術を導入している児童養護施設 子供の町。
心に深い傷を負った子どもたちをサポートする職員には、
どのような意識が必要なのか、
また臨床美術が果たす役割とは何か、
施設長の根岸氏と心理士の薊氏にお聞きしました。

児童養護施設 子供の町

施設長 根岸 昇 氏(左)
心理士 薊 奈保子 氏(右)
(埼玉県)



根岸氏：子供の町は、家庭で養育することができない子、あるいは家庭で養育されることが子どもにとって望ましくない環境の子をお預かりして養育し、退所後もサポートする児童養護施設です。現在、幼児から高校生まで130名がここで寮生活を送っています。最近の傾向としては、入所してくる子どもたちの約7割が虐待を受けた体験があり、心身が傷ついています。その傷は簡単に癒せるものではありません。衣食住や学習、余暇など普段の生活を通して、子どもたちと職員が感情のやり取りをしながら、人に対する安心感や信頼感を少しずつ獲得していくことがとても重要です。

40年以上ここで働いて思うことは、大人と子ども、職員と子どもという関わり合い方だけでは通用しないということです。未来の大人、同じ1人の人間という意識をどこかで持っていないと適切に対処できないことがあります。そうした意識のある職員の何気ない振る舞い、ちょっとした声掛けが積み重なり、子どもたちの心に届いていくのだと思っています。

また、入所した子どもたちは、自己肯定感がとても低い傾向にあります。自分に対する肯定的感情を醸成していく取り組みとして、創作活動、音楽、スポーツなどさまざまなグループワークがあります。その中の1つが「こまちアート」と呼ばれる臨床美術セッションです。月1回臨床美術士さんに来ていただく通常講座(全6回、定員10名)と、夏・冬にイベント的に開催する特別講座があり、どちらも基本的に小学生の希望者を中心に行っています。

薊氏： すごく引っ込み思案で鑑賞会に作品を出すことさえできなかった子が、6回目くらいになると「見て」と言えるようになったり、問題行動が多くて怒られてばかりの子がすばらしい集中力で作品を作り、職員や親がびっくりすることもあります。

施設の職員でもなければ学校の先生でもない人、しかも専門家の人に認めてもらえることが、自分を肯定する感情につながっていくのでしょうか。できる・できないという一般的な尺度ではなく、まったく別の物差しで見えてあげることが大事なのだと思います。

根岸氏：臨床美術は、虐待を受けた子どもに対する支援プログラムとして、可能性をもっているのではないのでしょうか。

参加者一人ひとりが主役になることを心がける



スタジオ*千ひろば
(ちひろば) 主宰
臨床美術士3級
認定心理士

島根 千尋 さん
(埼玉県)



セッション風景

2014年12月、自宅敷地内にあった旧文房具店を壊し「スタジオ*千ひろば」を建て、活動を始めました。小学生が2名、大人が3名のスタートでしたが、現在は80名近くになっています。3歳から90歳までの参加者は、小学生高校生・不登校傾向や特別なニーズを持つ子ども達、幼児とお母さんお父さん、高次脳機能障がい、認知症ご本人の方とご家族など、様々です。口コミや人との出会い、ブログを見てなど、5年間で徐々に参加者が増えていきました。

千ひろば以外では、さいたま市若者自立支援ルームで、様々な課題を持つ若者を対象に月1回セッションをしています。依頼を受け、保育士や教職員などの研修会、放課後デイケア、公民館には月に1回出張artに伺い、参加費・講師料をいただいています。

参加者お一人おひとりが“主役”になり、共に作り上げることを心掛けています。千ひろばスタッフとして、あえて、作品展の準備や片付け、当日の受付やご案内もお願いするようにします。千ひろばがほっと元気になる「居場所」であると同時に、主体的に「活躍できる出発点」になってほしいと思うのです。毎年8月は1ヶ月間「川口市立医療センター」で、臨床美術の作品展を行っています。

家族全員が臨床美術士。反省会は気兼ねなく言い合う



臨床美術士4級

大驛 興次 さん
(島根県)

妻：千晶さん(左)
臨床美術士3級
娘：杏奈さん(右)
臨床美術士4級



セッション風景

保育士をしていた妻が臨床美術士になり、セッションの練習台になった私も面白そうだとすぐに資格を取りました。大阪芸大で日本画を専攻していた娘も、私たちからセッションを受けたことで興味を抱いたようです。

臨床美術士としての活動は、石正美術館「大人のアートサロン」講座の中で、浜田市の臨床美術士の方と協力して年3回講座を開いています。一般の方が対象ですが、デイサービスの方や夏休みには親子連れの参加もあり、数十人規模になることもあります。その他、地域の公民館で高齢者を対象に年3回、小学校支援学級で年3回の創作活動授業を担当しています。

セッションは、妻と私、娘と妻といった具合に2人で組んで行うことが多いですね。互いに仕事を持っていて忙しいため、3人一緒に活動することはあまりありませんが、家族全員が臨床美術士のメリットは反省会の時間が十分取れること、気兼ねなく言い合えることだと思います。私は技術者、妻は保育士、娘は芸術という別角度からアイデアを出せるのも家族ならではの強みかもしれませんね。今後は作品展を多くの方に見て頂き、地元を中心に臨床美術を広めていきたいと思っています。

臨床美術学会第11回大会 2019

大会テーマ「人の生(life)を支える臨床美術の力」

共同開催 第11回国際臨床美術学会 BESETO CAT Conference

臨床美術のニーズは、認知症ケアを始め、子育て支援、保育、教育、メンタルヘルスケア等へ拡がり、様々な人の人生や生活を受け止める実践技術へと広がっています。第11回大会では、緑豊かな東京家政大学狭山キャンパスを会場とし、美術が本来持っている人間に与える力、様々な人生のステージで美術が人をどのように支えていくことが出来るか、人がよりよく生きていく(Well Being)のために、臨床美術がどのような意義を持つのか、ディスカッションを深めてまいります。また、国際臨床美術学会も共同開催とし、諸外国の臨床美術の動向も発信していただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 程：11月9日(土)・10日(日)

会 場：東京家政大学 狭山キャンパス
(埼玉県狭山市稻荷山2-15-1)

大会長：山本 和人(東京家政大学 学長)



Schedule



安藤 榮作(彫刻家)
撮影：中筋 純

11月9日(土)

開会式

9:30-17:30

基調講演： 安藤 榮作(彫刻家)

テーマ「創造行為がもたらす奇跡」

シンポジウム：テーマ「人の生(life)を支える美術の役割」

座長 保坂 遊(東京家政大学)

シンポジスト 宮島 祐(東京家政大学)

渡邊 賀子(医療法人祐基会帯山中央病院)

大倉 葉子(芸術造形研究所)

国際臨床美術学会 BESETO CAT Conference

中国、韓国による講演とワークショップ

18:00-

懇親会(オプション)

11月10日(日)

研究発表 ポスターセッション

10:00-15:30

パネルディスカッション「地域の生(life)を支える臨床美術」

ファシリテーター 青木 理栄(芸術造形研究所)

パネリスト 守屋 球子(臨床美術 彩球)

島根 千尋(スタジオ*千ひろば)

堀田 準二(志木市社会福祉協議会)

指定討論者 青木 一則(東北福祉大学)

閉会式



「鳳凰」2016年

2019年度 定期総会報告

5月26日に2019年度定期総会を開催いたしました。

5月24日時点において議決権総数は2177名で、本人出席44名、委任状による出席715名の合計759名で、定款27条に定める定足数3分の1以上を満たしたため、総会が成立したことをご報告いたします。

2018年度

2018年度 事業報告(事業報告書)

1. 会員状況

	2017年度	2018年度	差異
一般会員	0名	0名	0名
資格認定会員	2349名	2416名	67名
5級	744名	793名	49名
4級	1350名	1360名	10名
3級	222名	228名	6名
2級	20名	21名	1名
1級	13名	14名	1名
個人賛助会員	3名	0名	-3名
団体賛助会員	9団体	10団体	1団体
指定校	6団体	6団体	0団体
認定施設	3施設	4施設	1施設

2. 資格更新状況

級別人数	2017年度			2018年度		
	対象者	更新手続完了者	更新率	対象者	更新手続完了者	更新率
5級	69名	28名	41%	40名	18名	45%
4級	117名	87名	74%	188名	151名	80%
3級	31名	29名	94%	23名	21名	91%
2級	3名	3名	100%	1名	1名	100%

3. 認定施設・登録団体・指定校・アートサポーター・アート塾講師状況

	2017年度				2018年度			
	継続・更新	新規登録	辞退	計	継続・更新	新規登録	辞退	計
認定施設	3施設	0施設	0施設	3施設	3施設	1施設	0施設	4施設
登録団体	11団体	1団体	0団体	12団体	12団体	4団体	1団体	15団体
指定校	6校	0校	0校	6校	6校	0校	0校	6校
アートサポーター	101名	274名		375名	375名	0名		375名
アート塾講師	35名	7名		42名	42名	5名		47名

4. 臨床美術の普及活動

- 第10回臨床美術学会大会 — 富山福祉短期大学での実施(10月6日、7日) 参加者122名
- BESETO(北京大会)への参加 — 8月24日・25日で開催
- 「認定施設」「臨床美術活動施設」の促進 — 「認定施設」4施設
「臨床美術活動施設」92施設(2019年3月現在)
- 普及のための新たな企画の実施

	内容	開催地	開催日	参加人数計
公開セミナー	地域福祉におけるコミュニティづくり～美術による新たな取り組み～	北海道	6月9日	77名
特別講座	臨床美術で子どもが変わった	富山	7月8日	16名
	子どもの絵の見方ほめ方講座	仙台	3月24日	36名
		富山	7月8日	14名
		仙台	3月24日	40名
	ナラティブ講座	名古屋	11月24日	19名
	専門家から学ぶ 知らないといけない個人情報 実践カウンセリング講座I	東京	10月28日	26名
いきがい大学講座	アートで楽しく	東京	7月～11月	30名
		埼玉	5月8日	74名
		埼玉	5月10日	150名
		埼玉	5月15日	102名
		合計		584名

- 指定校(団体賛助会員)への支援(養成講座の広報支援・開講にむけ連携の強化)
- ホームページでの情報発信
- 活動実態調査の継続 — 1月にWEBアンケートを実施 資格認定会員77名が回答

5. 臨床美術士の質の維持

- 資格更新制度の周知、運営 — 制度の改定と告知を実施

② 協会主催の研修会の実施

内容	開催地	開催日	参加人数計
研修会	愛知	6月2日	16名
	福岡	6月3日	35名
	北海道	6月10日	23名
	新潟	6月23日	13名
	沖縄	6月30日	14名
	長野	10月14日	16名
	香川	10月27日	18名
	岐阜	2月2日	9名
	兵庫	2月24日	34名
	合計		178名

- IT環境を使った遠隔講座の調査・準備 — ビデオ講座開催 2月17日(愛知) 参加者9名

6. 臨床美術士への活動支援

- 各地域での交流会の実施(研修会同日での開催) — 福岡交流会 10名、北海道交流会 10名、沖縄交流会 5名
- 被災地支援プロジェクトの継続
- 臨床美術士のキャリア支援、「臨床美術士ステーション」の周知、運用など
- 臨床美術士への情報提供の充実

2018年度 決算

科目	2018年度予算	2018年度決算	差異
経常収益計	50,156,200	44,417,461	-5,738,739
経常費用計	48,879,784	44,994,071	-3,885,713
当期経常増減額	1,276,416	-576,610	-1,853,026

● 役員報告

新理事に7名が就任され、理事2名が退任されました。
また、今年度より本協会の理事は臨床美術学会の理事と兼任となりました。

<<新任>>

朝田 隆	医療法人社団創知会メモリークリニック	保坂 遊	東京家政大学 准教授
お茶の水 理事長		松田 弘	東広島市立美術館 館長
	東京医科歯科大学 特任教授		
青木 一則	東北福祉大学 准教授	<<退任>>	
大城 泰造	東北福祉大学 准教授	関根 一夫	MACF 牧師
河合 規仁	東北福祉大学 教授	青山 博幸	東北芸術工科大学 准教授
小林 信恵	女子美術大学 教授		

2019年度

2019年度 事業計画

臨床美術の普及活動

- 第11回臨床美術学会大会 — 東京家政大学 狭山キャンパス (11月9日、10日)
- 「認定施設」「臨床美術活動施設」の促進
- 普及のための新たな企画の実施(公開セミナー、いきがい大学講座など)
- 指定校(団体賛助会員)への支援
- ホームページ、SNSでの情報発信
- 活動実態調査の継続

臨床美術士の質の維持

- 資格更新制度の周知、運営
- 協会主催の研修会の実施 — 各地で12回開催予定
- IT環境を使った遠隔講座の準備・実施(ネット用講座の制作)

臨床美術士への活動支援

- 交流会の実施
- 臨床美術プロジェクトの継続(被災地支援、養護施設等での活動)
- 臨床美術士のキャリア支援、「臨床美術士ステーション」の周知、運用など
- 臨床美術士への情報提供の充実

2019年度 予算

科目	2018年度決算	2019年度予算	差異
経常収益計	44,417,461	45,932,000	1,514,539
経常費用計	44,994,071	45,851,500	857,429
当期経常増減額	-576,610	80,500	657,110

フィンランド セミナー報告



4月に、ラウレア応用科学大学にて、臨床美術のフィンランド版、エンカウンターアートのセミナー「Together」が開催されました。

日本臨床美術協会と大学とは長年に渡り交流が続いており、現地からの招聘で協会理事の大城泰造氏（東北福祉大学准教授）、顧問の西田清子氏がゲストスピーカーとして講演を行いました。

大城氏は「臨床美術－教育と発展－」と題し、東日本大震災の被災者支援におけるボランティアや研究者を起因とする倫理上の問題を紹介し、両者の共通の課題として考える機会を提供しました。

西田氏は「広がる臨床美術～その先へ」というタイトルで臨床美術が節目を迎え次のステージに向けての現状と課題を紹介し、今後のエンカウンターアートの発展へのエールを送りました。

セミナーには大学があるヴァンター市を中心に、国内各地域で活動している多くのエンカウンターアーティストが集まり、講演の他、作品展やワークショップなどが実施され、参加者同士の情報交換も活発に行われ、エンカウンターアートの発展が実感されました。

登録団体代表者会議が行われました

現在、協会認定の登録団体は全国に14団体あります。年に1度代表者会議が御茶ノ水で開催され、全国の代表者が顔を合わせる機会となっています。今年は4月14日(日)に開催され、各地域での活動発表を行いました。各施設や病院等での定期的なセッションの実施、公開セミナーやワークショップ、作品展など地域での臨床美術普及のための広報活動、また、昨年は自然災害が多かったこともあり、被災者の方々へのボランティア活動をしたり、臨床美術士の横のつながりを強化すべく勉強会や交流会を行うなど、それぞれが前向きに活動しています。時には悩みや課題について共有し、アドバイスをしあったり、事務局を交え



てディスカッションをすることもあります。

地域によって活動はさまざまですが、皆の共通した思いは臨床美術を広めたい、必要としている人たちに届けたい、仲間を増やしたい…。臨床美術を愛する思いは熱く、刺激とパワーにあふれた3時間となりました。

日本臨床美術協会事務局 「電話番号・受付時間変更」のご案内

2019年1月1日より日本臨床美術協会事務局の電話番号が下記に変更となりました。
お手数をおかけいたしますが電話番号のお控えなど、ご訂正くださいますようお願い申し上げます。

新電話番号：050-6865-3701（旧電話番号：050-3735-2028）

※他、郵送先住所等に変更はございません。

尚、2019年6月1日より受付時間が変更となりました。

受付時間：平日9:30～18:00

「臨床美術 活動施設」のご案内

継続的に臨床美術の活動を行っている施設等を「臨床美術活動施設」と位置づけ、ホームページ等でご紹介しております。臨床美術が実施されている全国の施設を協会ホームページに掲載することにより、臨床美術の広がりや訴求し、社会的な認知度をあげることを目的としています。また、申請していただいた施設としては独自性をアピールする事ができ、双方にとって

有益になることを目指しています。会員の皆様には現在実践している施設等に「臨床美術 活動施設」への登録をお声かけいただき、臨床美術の普及にご協力をお願いいたします。

詳しくは協会ホームページ、または協会事務局までお問い合わせください。

「資格更新制度単位」に項目が追加されました

2019年6月1日より、臨床美術士資格更新制度の単位取得対象項目等が一部追加となりました。

※ホームページ「単位一覧」をご参照ください。

関わる

「臨床美術学会 総会に参加する」 単位数：5単位 対象級：全般

学ぶ

「臨床美術に関する勉強会や交流会に参加する」 単位数：2単位 対象級：全般

「臨床美術士ステーション」登録のお願い

全国の臨床美術士を紹介するサイト「臨床美術士ステーション」へ登録しませんか？自身の臨床美術士としてのプロフィールを登録することで、臨床美術士を探している企業や個人からの問い合わせの窓口として活用することができ、営業ツールとしても有効です。また、協会事務局を窓口とするためダイレクトに臨床美術士には連絡がいかないシステムになっているので安心です。

主な登録条件は、・資格認定会員であること ・4級以上で現場経験があること ・電子メール環境(携帯不可)があることです。

社会や地域に向けて臨床美術普及のため、また臨床美術士としての仕事を得るきっかけとして、是非会員の皆様の登録をお待ちしております。詳細は下記をご参照ください。

臨床美術士ステーション <http://www.clinicalartist.jp/>

登録について <http://www.arttherapy.gr.jp/member/station/>

協会主催の研修会・講座のご案内

●「2019年度研修会(2019年10月～2020年3月)」について

協会主催の研修会につきましては、同封しております研修会冊子にてご確認ください。

●「カウンセリング講座」のご案内

「カウンセリング講座」のご案内につきましては、同封のチラシをご確認ください。



臨床美術公式Facebook開設

日本臨床美術協会と芸術造形研究所が運営する臨床美術の公式Facebook「臨床美術ひろば」を開設しました。会員の皆様からの臨床美術に関する作品展、イベント等の情報を掲載していきますので、掲載希望の方は協会事務局までお問い合わせください。

指定校からのお知らせ

東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター 予防福祉健康増進推進室

臨床美術士養成講座 (仙台校)

5級取得コース

※5日間・全18コマ/9:30~16:50(15:30終了の回あり)

2019年

11月期	11/24(日) 12/1(日) 12/8(日) 12/15(日) 12/22(日)	申込締切日:11/8(金)
------	---	---------------

<申込窓口>

東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター 予防福祉健康増進推進室

TEL:022-742-2886 FAX:022-742-2887

E-mail: wellcom-school@tfu-ac.net

富山福祉短期大学

臨床美術士養成講座

4級取得コース

2019年

10月期	10/27(日) 11/3(日) 11/24(日) 12/1(日) 12/15(日) 12/22(日) 1/5(日) 予備日1/12(日)	申込締切日:10/11(金)
------	---	----------------

<申込窓口>

富山福祉短期大学 共創福祉センター TEL: 0766-55-5567

ひろしま美術研究所

臨床美術士養成講座

5級取得コース

2020年

1月期	1/19(日) 1/26(日) 2/2(日) 2/9(日) 2/16(日)	申込締切日:1/6(月)
-----	--	--------------

4級取得コース

2019年

9月期	9/22(日) 9/23(月・祝) 10/13(日) 10/14(月・祝) 10/27(日) 11/3(日) 11/4(月・祝)	申込締切日:9/9(月)
-----	--	--------------

<申込窓口>

ひろしま美術研究所 TEL: 082-506-3060

※各会場の研修会情報は、別紙の年間スケジュール一覧をご参照ください。

芸術造形研究所からのお知らせ

臨床美術士養成講座

通学	5級 2019年 9月期 (京都クラス)	全5回	会場:京都	締切 8/22(木)
	5級 2019年 9月期 (北海道クラス)	全5回	会場:北海道	締切 8/22(木)
	5級 2019年 9月期 (4日間特別コース)	全4回	会場:東京	締切 8/29(木)
	5級 2019年10月期 (水曜日クラス or 土曜日クラス)	全6回	会場:東京	締切 10/9(水)
	5級 2019年12月期 (短期集中コース)	全5回	会場:東京	締切 11/14(木)
	4級 2019年 9月期 (短期集中コース)	全7回	会場:東京	締切 8/29(木)
	4級 2019年10月期 (水曜日クラス or 土曜日クラス)	全9回	会場:東京	締切 9/24(火)
	4級 2019年10月期 (福岡クラス)	全7回	会場:福岡	締切 10/3(木)
	4級 2019年11月期 (京都クラス)	全7回	会場:京都	締切 10/17(木)
	3級 2019年10月期 (金曜日クラス) 進級審査日程:10/11(金)	約10カ月	会場:東京	進級審査締切10/4(金)
通信教育	5級 2019年 9月期 9/21(土)スクーリング	1日間+5ヶ月	会場:東京	締切 8/29(木)
	5級 2019年10月期 10/12(土)スクーリング	1日間+5ヶ月	会場:東京	締切 9/19(木)
	5級 2019年12月期 12/14(土)スクーリング	1日間+5ヶ月	会場:東京	締切 11/21(木)
	4級 2019年11月期 11/23(土)・11/24(日)スクーリング	2日間+6ヶ月	会場:東京	締切 10/31(木)

※ 東京校では上記講座の他、感性アートゼミ (通学or通信制) など各種講座、研修会も開講します。

詳しくは芸術造形研究所のホームページでご確認いただくか、担当までお問い合わせください。

<申込窓口>

芸術造形研究所 TEL:03-5282-0210 E-mail:school@zoukei.co.jp

表紙掲載 アートプログラム紹介

「おばあちゃんの畑のとうもろこし」

手に持ったときのとうもろこしの感触を頼りに造形し、固有色にとらわれない色彩表現をすることで、魅力的なとうもろこしを造形します。

アートプログラム販売中! お申込みはこちらから→<http://www.zoukei.co.jp/shop/artprogram/>



特定非営利活動法人

日本臨床美術協会

本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。

[事務局]

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3階

TEL. 050-6865-3701 FAX. 050-3737-9007

E-mail: association@arttherapy.gr.jp <http://www.arttherapy.gr.jp>

臨床美術JCAA ニュース 第56号 2019年7月25日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会